株式会社 大登産業（廃棄物処理業）

DTS 株式会社大登産業



事務所

〇本社所在地：栃木県宇都宮市若草4-24-11
〇事業概要：産業廃棄物の収集・運搬・処理
〇常時使用する従業員：8名
（2026年6月時点）
〇現在の売上高：10億円
（ 2026年6月期）
〇法人番号：9060001025107
〇Web：https://www.daito12.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
市川　優子

「特殊・処理困難廃棄物」の再資源化で循環社会を支える

栃木県環境総合計画が掲げる循環型社会の実現に向け、一般的な廃棄物に加え、特殊・処理困難廃棄物の再資源化にも積極的に取り組みます。これまで培ってきた技術とノウハウを活かし、平時の資源循環から災害時の廃棄物対応まで、地域を支える企業を目指します。「社会貢献・お客様の満足・社員の幸福」を追求し、地域の環境課題の解決に挑戦し続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

年平均約27.7%の成長を続け、2036年度に売上高100億円を達成するため、収集・運搬を中心とした事業から、中間処理・再資源化まで担う産業廃棄物処理業へ事業構造を転換する。



課題

- 自社中間処理機能を持たず、適正処理・トレーサビリティを重視する上場企業からの受注が限定
- 栃木県では、産業廃棄物の再生利用率が2025年度目標53%※に対して改善が進まず、資源循環のさらなる高度化が必要
- 災害廃棄物の受入・処理体制の構築による地域の災害対応力向上と、新たな事業領域の創出

※ 2025年度から2030年度に目標をスライド

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 産業廃棄物運搬業から、中間処理・再資源化まで担う事業構造へ転換
- 上場企業の要求水準に対応する適正処理・トレーサビリティ管理体制を構築
- 特殊・処理困難廃棄物（混合廃棄物・鉱さい等）の再資源化体制を構築
- 災害廃棄物処理への新規参入による事業領域の拡大

実施体制

- 社長直下の新規事業部創設による推進・マネジメント体制の強化
- 専門人材の採用・育成による中間処理・再資源化の技術体制の構築
- グループ連携による「解体→収集運搬→中間処理→再資源販売」の一貫体制の構築
- 外部の処理・再資源化事業者等との連携による、安定した処理・販売体制の構築

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社 大登産業（廃棄物処理業）

売上高100億円実現の目標と課題

項目	社会的背景	対応策
社会課題	資源制約・脱炭素を背景に、循環経済への移行が加速	中間処理・再資源化機能を獲得し、資源循環型事業へ転換
栃木県政策	循環型社会の形成に向け、資源循環・再生利用を推進	特殊・処理困難廃棄物の再資源化を通じ、県政策に貢献
県目標とのギャップ	産業廃棄物再生利用率は目標53%(2025年)に対し未達の見通し	破砕・圧縮等の中間処理により、再資源化を促進
顧客課題	上場企業を中心に、適正処理・トレーサビリティ要求が高度化	自社中間処理・管理体制を整備し、要求水準に対応

